



シラバス参照

講義名	環境科学概論		
(副題)	1M		
開講責任部署	保健科学部臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・演習
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4時限
校地	岐阜医療科学大学関キャンパス		
実務経験のある教員による授業科目 (○/×)	×		
科目概要	基礎分野 健康と保健科学		
対象学科・年次	臨床検査学科 1年		
必修/選択	選択		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 永瀬 久光	薬学部
講師	井戸 章子	薬学部 薬学科

授業概要	環境問題は身の回りから地球レベルまであらゆる場面でみられ、これらの問題は個人、集団の価値観、生活行動に帰着される。環境問題を抱えるに至った経緯、過去の環境（公害）問題の歴史を振り返り、これをどう解決してきたかを学ぶ。現在、我々の抱えている地球環境問題の成因、影響、対策等について学ぶ。
到達目標	地球生態系や生活環境を保全、維持するために、環境汚染物質などの成因、生体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的事項を修得する。また、環境に関する知識と理解を深めることによって、環境問題と保全について考え、意識を高め、自身が行動できるようになる。
教員の実務経験	なし

授業計画表

回	担当教員	テーマ	内容
第1回	永瀬 久光	環境科学序論	環境科学とは何か、人間の活動と環境、人口と食料・エネルギーについて講義する。
第2回	永瀬 久光	公害の歴史 (1)	公害とその防止規制の歴史、また、水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくの健康被害及びその原因物質などについて講義する。
第3回	永瀬 久光	公害の歴史 (2)	水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくを映像から学ぶ。
第4回	永瀬 久光	わが国の環境の概況	水、大気及び土壌環境の現状と問題点について講義する。
第5回	井戸 章子	地球環境問題 (1)	温暖化、生物多様性問題の現状、原因、影響及びその防止対策について講義する。
第6回	井戸 章子	地球環境問題 (2)	オゾン層の破壊、酸性雨問題の現状、原因、影響及びその防止対策について講義する。
第7回	井戸 章子	化学物質の生産と安全管理	環境を汚染する化学物質の健康影響、リスク評価、さらには化学物質の安全利用のための施策について講義する。
第8回	井戸 章子	リサイクルと循環型社会	廃棄物(一般、産業、医療)問題の現状とその対策について講義する。

学位授与の方針との関連性	関心・意欲 態度 技能・表現
準備学習の内容	

	事前：次回学修する範囲について、教科書を予習する。（1時間） 事後：配布資料や講義ノートの復習する。（1時間）
成績評価基準	環境科学に関する基本的な内容が理解できていることを評価基準とする。
成績評価方法	環境科学に関する基本的な内容が理解できているか、定期試験（筆記）により評価する。
課題へのフィードバック等	分野ごとに確認問題のプリントを渡し、次の時間にその問題の解答とともに詳細な説明を行うとともにポータルサイトに掲載する。
学生へのメッセージ	環境に関する科学は、人文・社会・自然科学分野にわたる学際的な性質をもつ。それ故環境の問題を幅広い視点から捉え、理解することが必要です。日頃から新聞やニュース等の関連記事に興味を持ち、目を通すようにしてください。環境問題を意識して行動できるようになってください。
オフィスアワー	随時質問を受け付ける。
教科書	及川紀久雄 編、新 環境と生命（改訂版）（三共出版）

[ウインドウを閉じる](#)

科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	環境科学概論
時間割	毎週火曜日 4 時限 15 時 10 分開始 16 時 40 分終了
初回の授業日	10 月 5 日 (火)
講義室	4 号館 早緑ホール
注意事項	自家用車やバイクで通学する場合は事前に教務課まで連絡ください (許可制)。
授業についての 問合せ	岐阜医療科学大学 関キャンパス教務課 (平日 9 時から 17 時まで) Tel: 0575-22-9401

地 図	
交通アクセス	<p>名鉄岐阜バスターミナル内 D のりば「岐阜医療科学大学行またはせき東山行」</p>